

2017年 秋祭りヨットレース 帆走指示書

主催 富貴ヨットクラブ

◎ 特別ルール

- 1) スピン・ジェネカーは使用禁止です。
- 2) 女性、小学生以下の児童、45歳以下の男性一人につき5%（上限30%）のハンディを付与。
- 3) 白色（ダクロン）メインセール&ジブファーラーに各5%のハンディを付与。
（ただし、2と3の合計でも上限は30%までとする。）
- 4) ダブルハンド(乗員2名)クラスを設けます。（ただし2艇以上の参加で成立）
2名以上乗艇でも「操船は2名」と申告すればOK
基本ハンディは20%を付与。3との合計で30%までとする

1、適用規則

セーリング競技規則(RRS) 2017~2020及び本帆走指示書とする。

2、責任の所在

参加艇や乗組員の事故（死亡・傷害・沈没・破損等）及び第三者に与えた損害については、主催者及びレース委員会及び運営委員は如何なる責任も負わない。
また、レース艇がスタートするか否か、レースを続行するか否かは各艇の責任のみで決定される。

3、競技者への通知

レース本部からの通知及び帆走指示書の変更等は、予告信号10分前までに本部船から通知する。
（L旗掲揚、白板掲示等）

4、レース日程

平成29年10月15日(日) 艇長会議 AM8:30~ 予告信号 AM 9:55
スタート AM10:00
Wハンドクラスも同時スタートとする

5、コース

コースは艇長会議にて発表する。
（例）スタート（赤堤防沖付近）→ 一色ブイ(反時計回り) → フィニッシュ（白灯台内側延長線）

6、マーク

マークはオレンジ色三角ブイを使用する。

7、本部船

スタート本部船：アイビー ホランド33 ハルの色緑 オレンジ色旗を掲揚する。
10分遅れでスタートしレースに参加する。
本部船の連絡先：中野修 090-9020-1271

8、スタートの手順（両クラス同時スタート）

スタートライン ポート(左)の端となるオレンジ色ブイと、スターボード(右)の端となる本部船に掲揚したオレンジ旗の間とする。

スタートはRRS26を用い、クラス旗は富貴クラブ旗を使用する。

信号旗と音響信号・スタート信号までの時間

信号	旗と音響信号	スタート信号までの時間
予告	富貴クラブ旗：音響1声	5分
準備	P旗又はI旗：音響1声	4分
1分前	準備信号の降下：音響1声	1分
スタート	富貴クラブ旗の降下：音響1声	0分

スタートラインはスタート信号10分後に消滅し、それまでにスタートできなかった艇はDNSとする。

※ スタート制限時間に間に合わないかと判断した艇は、エンジンを使用してスタートすることができる。ただし、スタートラインを通過した後はセーリングして下さい。

（エンジンの使用は自主申告 10分以内及び5%）

9、 個別のリコール

本部船にX旗を揚げ音響信号1声を発する、掲揚の時間は、全てのリコール艇がスターティングライン又はその延長線上の「バックサイト」に完全に入るまで、又は規則30.1(ラウド・ア・インド)が適用された場合はそれに従うまで、又はスタート信号後10分間とする。

10、 ゼネラルリコール

スタート信号時に、「バックサイト」にいる艇又は規則30の適用を受ける艇が特定できない場合、又はスタートの手順に誤りがあった時、本部船に第1代表旗を掲揚し音響信号2声を発する。第1代表旗は次の予告信号1分前に降下する。(スタート信号の6分前)

11、 スタートの延期

スタートの延期は、本部艇にAP旗を掲揚し、音響信号2声を発して通知する。スタート予告信号はAP旗降下1分後とする。(スタート信号の6分前)

12、 レースの中止

レースの中止は、本部艇にN旗を掲揚し、音響信号3声を発して通知する。N旗掲揚した場合は、その日のレースは行わない。

13、 フィニッシュ

フィニッシュラインは艇長会議にて発表する。

(例)フィニッシュラインは衣浦白堤防の内側延長線上とし、その仮想線上を艇体の一部が横切った時をフィニッシュとする。(計時して帰着申告書にて自主申告)

14、 タイムリミット

タイムリミットはスタート時刻に拘わらず13:00とする。

15、 抗議

本レース委員会は、レース中にいかなる抗議も受け付けない。

16、 失格に代わる罰則

RRS 第2章の規則違反については、失格に代わる罰則として720°回転の罰則が適用される。

17、 レース旗

A) レース参加艇はクラブ旗を予告信号からレース終了まで、もしくは棄権するまでバックサイトに掲揚しなければならない。

B) レースを棄権した艇は直ちにクラブ旗をおろし、速やかに本部艇に報告しなければならない。

18、 レース艇の義務

A) 出艇申告後、スタートしない艇.又は、途中、棄権した艇は速やかに本部船に報告しなければならない。

B) 乗組員全員がライフジャケットを直ちに使用できる状態で着用すること。

19、 レース委員会(レース本部)の所在

レース委員長 河崎金徳 090-3150-9659

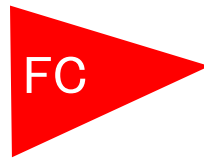
富貴クラブ(クラブハウス) 0569-73-6940

参考 JSAF外洋レース規則 第7条 エンジンの使用

落水者救助、遭難艇(船舶)救助、衝突回避、その他の緊急事態に対処するためにエンジンを使用することが出来る。但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的、時間、場所等)についてフィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。漁船、その他一般動力船との出会いでは、衝突回避が最優先です。微風時、視界不良時には、エンジン使用が衝突回避に有効な場合があります。無用なトラブルを避け、遠慮なく活用し、報告ください。

信号旗

音響 1 声 5 分前 富貴クラブ旗



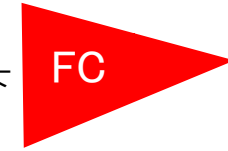
音響 1 声 4 分前 準備信号



音響 1 声 1 分前 準備信号降下



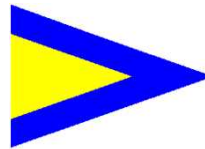
音響 1 声 **スタート** 富貴クラブ旗降下



リコール



X 旗
音響 2 声



第一代表旗
音響 3 声

誰かがフライング

スタートのやり直し



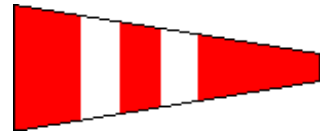
L 旗

声の届く範囲に
音響断続



N 旗

レースの中止
音響 3 声



A P 旗

レースは延期された
↑音響 2 声
↓音響 1 声

フィニッシュライン



白灯台◎



赤灯台